

AISIN SHIROKI Health Management Report 2026

2026年9月14日
アイシンシロキ(株) 総務部

【健康宣言】



アイシングループ健康宣言

アイシングループは、かけがえのない社員が、心身ともに健康で、実り豊かな生涯を送ってほしいと願っています。社員の健康は、会社全体を活性化させ、会社の持続的な成長にも繋がると考えます。経営理念に掲げた『移動に感動を 未来に笑顔を』を実現するために、すべての仲間が、健康で、わくわくと仕事に取り組み、働きがいや人生の幸せを感じ、個々の強みを発揮できることを目指します。

- ・私たちは、自らの健康へ関心を持ち、仲間とともに、健康維持、増進に努めます。
- ・私たちは、健康で、個々の強みを発揮できる会社風土を醸成し、笑顔あふれる未来を創ります。

2026年 9月 14日
アイシンシロキ株式会社

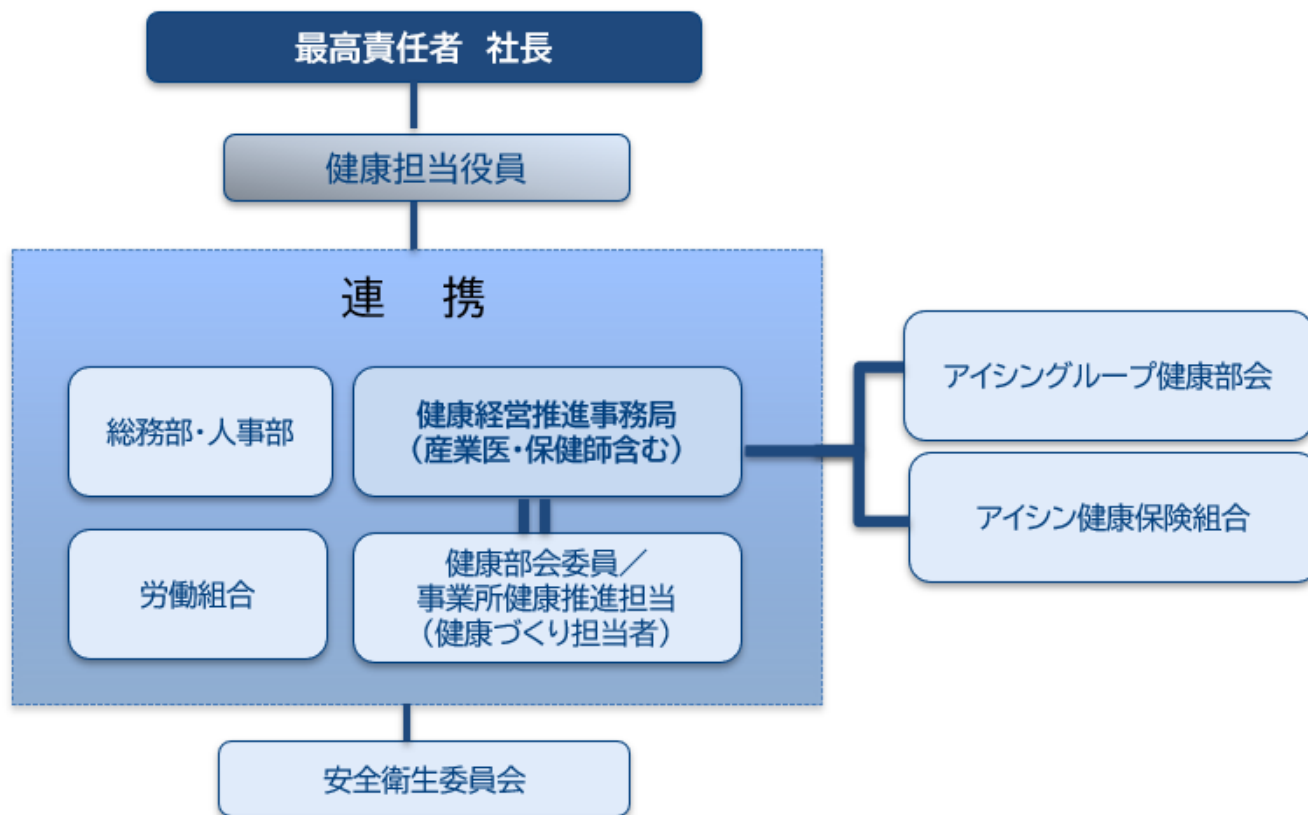
取締役社長

小山 一人

アイシンシロキでは、従業員の健康管理に戦略的に取り組むことを内外に表明するため、2021年8月以来、社長が「健康宣言」を掲げ続け、健康経営の取り組みを継続しています。

「健康宣言」は従業員の健康を経営の重要テーマと捉え、健康経営を推進していくための基本方針として位置づけられています。

【健康経営推進体制】



当社は、アイシングループ健康宣言のもと、社長および健康担当役員を中心とした推進体制で健康経営を進めています。

健康経営推進事務局が産業医・保健師・各部門と連携し、計画から実行・改善まで一体となって取り組むことで、組織的かつ継続的な健康づくりを推進しています。

こうした取り組みが評価され、当社は「健康経営優良法人認定制度」において、2024年より健康経営優良法人として3年連続で認定を受けています。



【健康経営戦略マップ】

従業員の健康を経営の重要なテーマとし、様々な健康投資を進めています。経営方針と連動した取り組みを通じて、より健やかに働ける職場づくりを目指します。

作成年：2026年1月

健康投資

職場のストレス対策と「心の健康」保持増進

高齢従業員への施策

病気の早期発見と生活習慣病未然防止活動

感染症予防活動

喫煙率低減活動

ヘルシテラーの向上と健康行動への支援事業

健康教育

従業員の健康課題

肥満者の割合

喫煙率

メンタル新規発症率

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標

メンタル教育受講率

ロコモ度 1以上の割合

ウォーキングイベント参加率

社内自販機0カロリー飲料 配割割合

特定保健指導完遂率

肥満者及び予備軍への支援実施率

チャレンジ8教育受講率

女性の健康教育受講率

健康アプリ登録率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

教育理解度

ロコモ該当者 改善割合

運動習慣率

社内自販機0カロリー飲料 購入数

禁煙開始者数

チャレンジ8 実践割合

婦人科健診受診率

健康アプリ登録率

健康関連の最終的な目標指標 KPI

①健康風土醸成

AIJリサーチ肯定回答率

ストレスチェック 総合健康リスク

120以上の高リスク職場割合

②健康課題への対処

BMI25以上の割合

喫煙者の割合

新規メンタル発症率

フレブティーズム

AISK：2030年目標

KGI

働くすべての人が自発的に健康増進に取り組んでいる状態。健康年齢▲3.0歳を目指す

健康経営の目標

一人ひとりが100%能力を発揮できる健康維持、増進と健全な職場風土の確立

健康経営の推進方針

心身の健康保持、増進が継続的、自主的に行われ、いきいきと前向きに挑戦し続けられる職場・人を目指します

経営方針

「安全と健康」「お客様第一」「品質至上」はすべての基盤

健康経営の浸透状況

経営トップからの発信

健康方針の定期的な発信

健康意識調査の実施

方針実現のための体制・環境

経営レベル会議での健康経営の議論化

健康部会の設置

産業医・保健師の関与

健保組合とのコラボヘルス

労働組合の意見聴取

サポート、組織的支援（POS）、WSC等

労働時間の管理

在宅勤務制度の整備

育児・介護 法令以上の規定整備

各種制度見直し

健康イベント インセンティブ

健康相談窓口

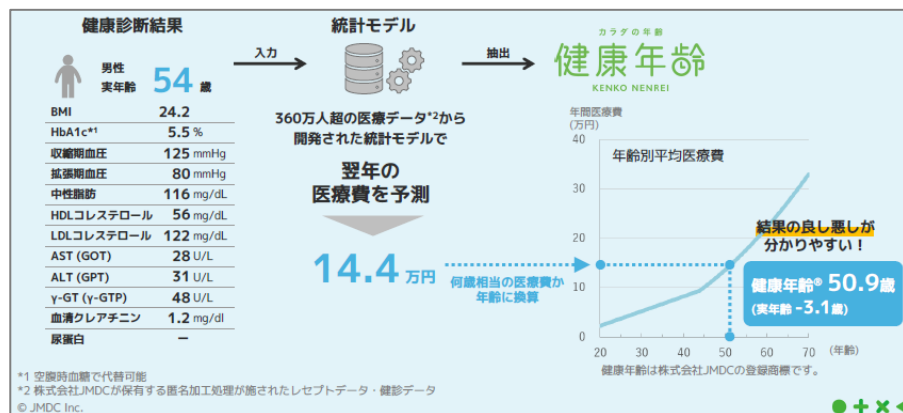
健康風土の醸成

アイシンシロキは2030年目標のKGIとして 健康年齢平均を実年齢▲1.0歳を目指し、健康風土を醸成し、健康経営を実践します！

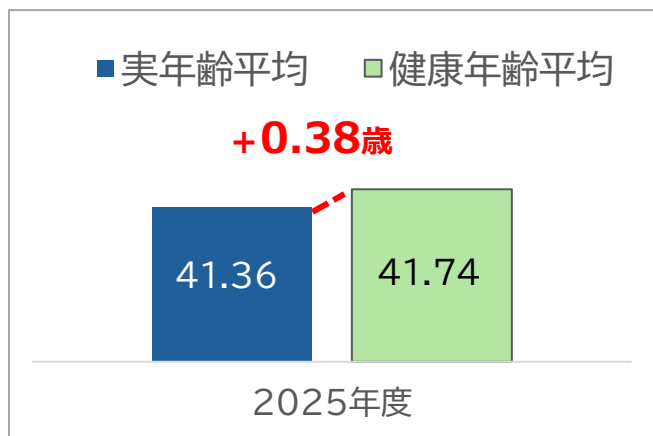
KGIとした健康年齢とは

健康診断での健康状態を年齢に置きかえて示す指標です

会社で実施する定期健康診断の結果から、カラダは何歳相当なのかを統計的に判定します。
健康年齢が高いほど、生活習慣病リスクや将来の医療費が高騰するリスクがあることを意味します。
健康年齢は360万人分の健診データと医療費(*2)の統計モデルから開発されました。



健康年齢実績



※算出に必要な健診項目(12項目): BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GT(γ-GTP)、血糖(HbA1cまたは空腹時血糖)、尿たんぱく、血清クレアチニン(血清クレアチニン以外は必須項目)

※2025年 健保で健診結果登録完了者のみで集計しています。全データの反映は出来ていないため、最終実績は多少結果が異なります。

適正体重を保つ・適度な運動・健康的な食生活などを促し健康年齢改善を目指します。

健康関連の目標指標 KPI

(1)健康風土醸成

ヘルスリテラシー肯定回答率

ストレスチェック 総合健康リスク
120以上の高リスク職場数

(2)健康課題への対処

BMI25以上の割合

喫煙率

新規メンタル発症率

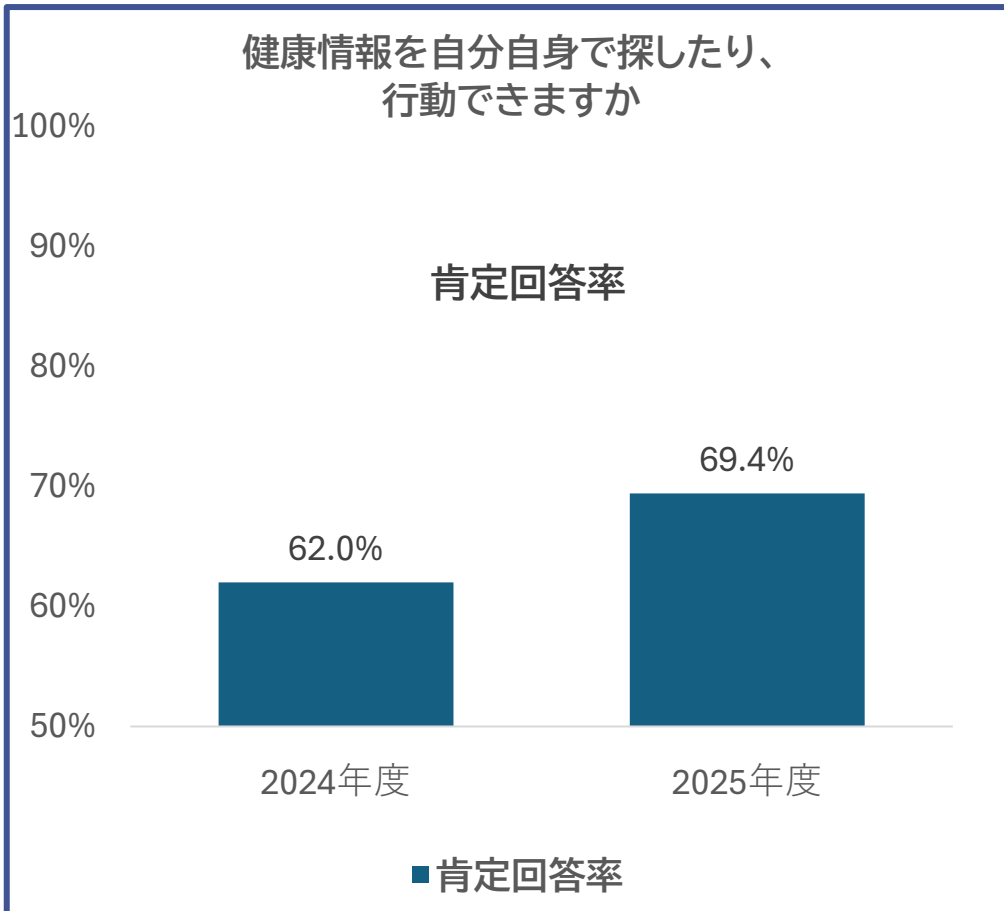
プレゼンティーイズム

2030年度の目標に向け、
健康指標を基に改善を進めています

心身の健康保持・増進が継続的、自主的に行われる
(1)健康風土醸成の取り組み

従業員のヘルスリテラシー向上を目指します

◇ヘルスリテラシーとは、「健康に関する情報を入手・理解し、適切に判断・活用できる力」のことを指します。



2025年度 各種施策実績

健診関連受診率

内容	対象	実施率
定期健康診断受診率	全従業員	100%
精密検査受診率	基準該当者	66.3%
特定保健指導実施率	40歳以上基準該当者	85.5%
ストレスチェック受検率	全従業員	95.1%
任意健診(がん)受診率	35歳と40歳以上	59.9%

女性の健康教育 受講状況

内容	対象	受講率
女性の健康・ラインケア教育	基幹職昇格者	100%

◇この他、メンタルヘルス教育、全従業員に向けた健康教育、新入社員教育などを実施しています。

心身の健康保持・増進が継続的、自主的に行われる (1)健康風土醸成の取り組み

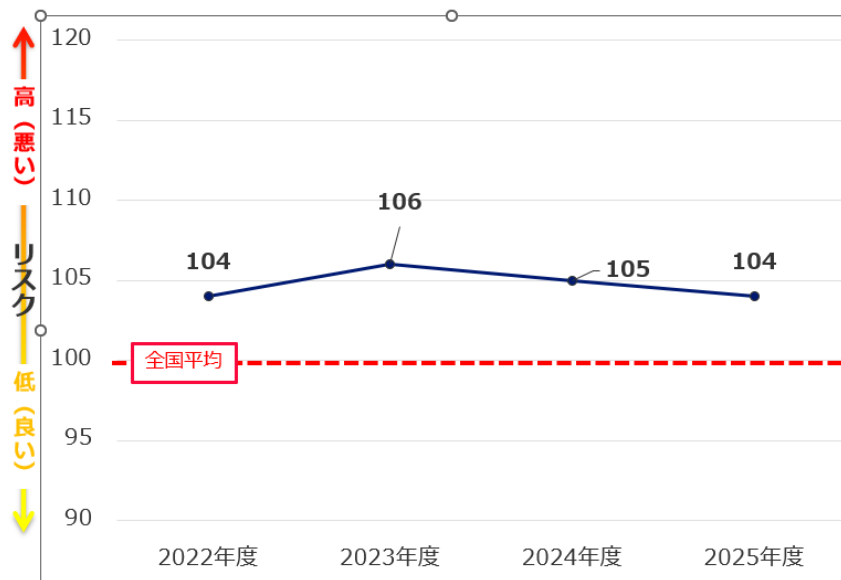
いきいきと働ける職場を目指して 健康リスク改善活動

春に全従業員を対象に実施しているストレスチェックの結果を小集団分析し、職場診断結果を各職場へフィードバックすることで、職場のストレス要因の「見える化」する活動を2022年より開始しました。

職場の課題を「見える化」することにより、職場の健康リスク意識を高め、自分事として職場主体の改善活動への行動変容に繋げています。

ストレスチェック総合健康リスク

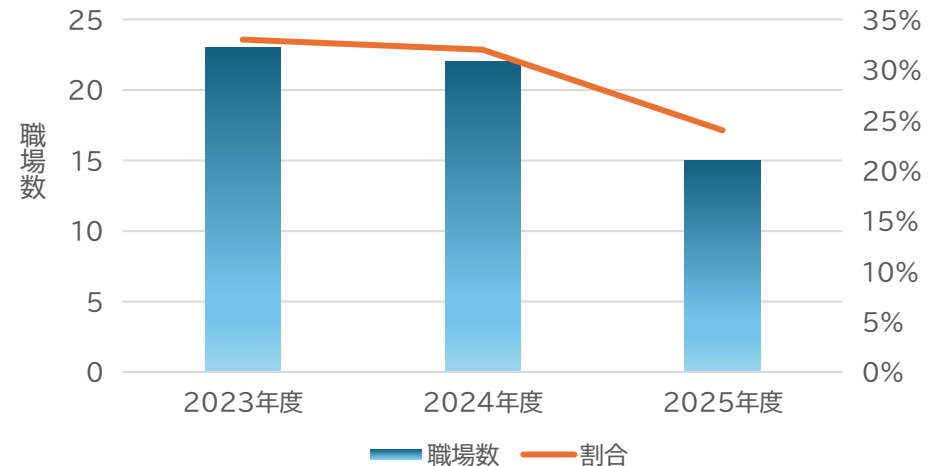
事業所別の推移（2023～2025年度）



※ストレスチェック受検率 95.1%(2025年度)

健康リスクの高い職場を改善するため
「ストレスチェックにおいて総合健康リスク120を超える職場を高リスク職場として特定し、課題の分析、改善計画の立案、現場との対話を通じた対策の実行など、継続的な改善活動を実施しています。

年度別 高リスク職場



従業員がいきいきと元気に働き続けられるように

(2)健康課題への対処

具体的な取り組み

肥満(BMI25以上)改善活動

BMI25以上となると生活習慣病のリスクが高くなります。体重が継続して増加した人は、その翌年も増加し続ける傾向があるため、2年連続1kg体重増加者を対象に管理栄養士等による手紙や面談等の支援を実施しています。また、メタボ健診による特定保健指導対象者への面談支援を毎年80%以上実施しています。

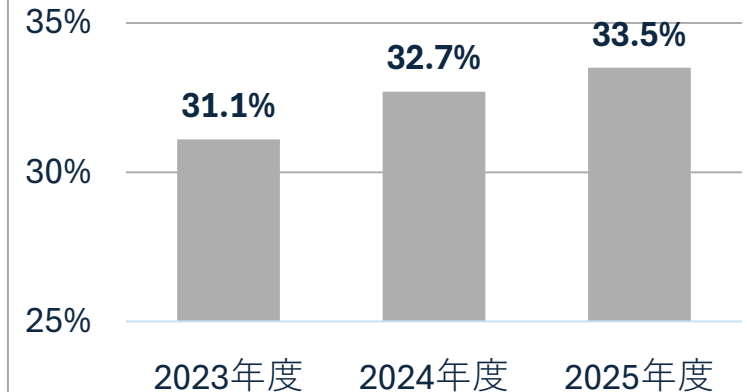
喫煙による健康リスクを減らすための活動

禁煙はがんをはじめ、様々な病気と関係しています。禁煙したい従業員に対し、禁煙補助薬の購入補助をする等喫煙者が禁煙に取り組めるようにサポートをしています。

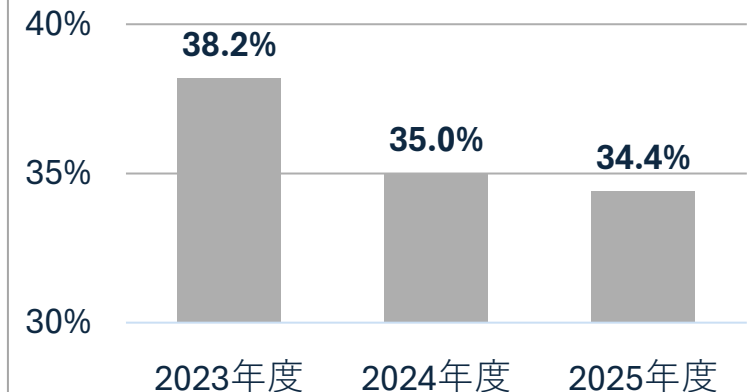
心の健康リスクを減らす活動

従業員が心身の不調を早期に察知し、適切に対処できるように、すべての基幹職にラインケア教育を実施しています。また、ストレスや不安は生産性低下や離職につながる可能性があり、職場全体のパフォーマンスにも影響するため、新たにリーダーとして役割を担う昇格者に対し、セルフケア教育を実施する等、安心して働ける職場環境づくりを促進しています。

肥満率 (BMI25以上)



喫煙率



従業員がいきいきと元気に働き続けられるように

(2)健康課題への対処

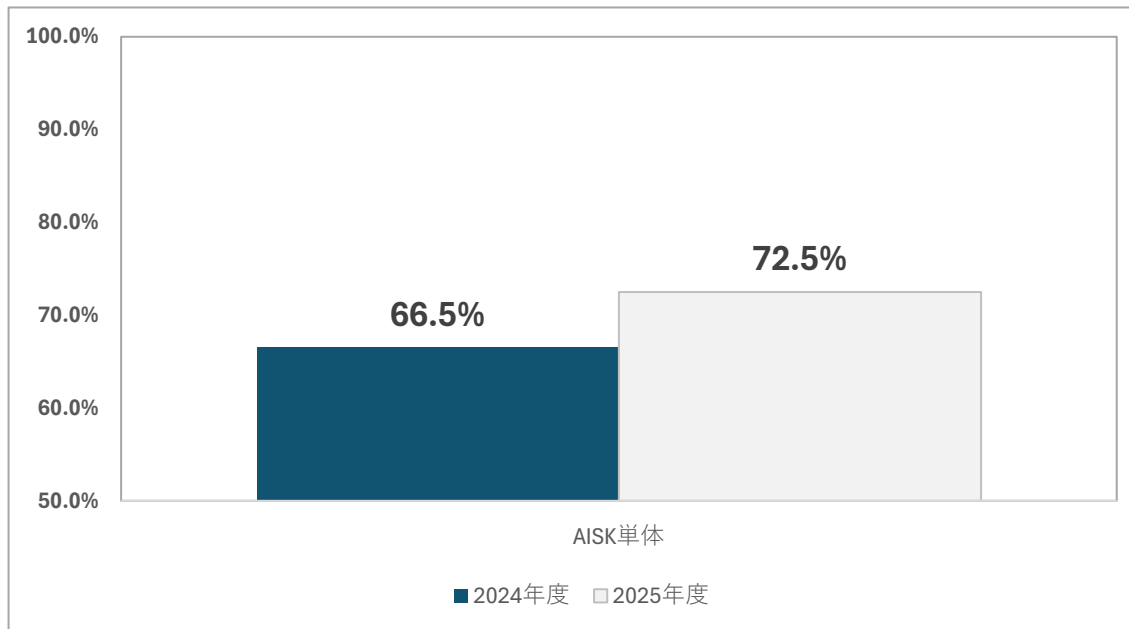
具体的な取り組み

プレゼンティーズムへの対処

◇プレゼンティーズムとは「健康問題が理由で生産性が低下している状態」

従業員健康意識調査にてプレゼンティーズムによる影響度を可視化しています。

プレゼンティーズム測定による「80%以上仕事のパフォーマンスが発揮出来ている」割合



【調査方法】

- ・対象者:全従業員
- ・調査方法:年1回 従業員意識調査実施時に健康意識調査として「SPQ東大1項目版」を使用し測定
- ・設問内容:
「病気やけががない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。」

